

## コンポーネントを破線で連結



1つのデバイスを回路図では複数に分けて描くことがあります、離れてしまうと同一デバイスと判断できなくなる為、シンボル同士を連結する破線などを作図する場合があります。

Electrical は自動作図可能な場合もありますが、後から連結する場合に便利なコマンドです。

連結したい2つの回路シンボルをクリックすることで連結線を作図可能です。

※回路シンボルに連結用の属性が配置されている場合のみ

### ① 回路シンボル確認

回路シンボルに連結用の属性が配置されているか事前に確認が必要です。回路シンボルをダブルクリックして、下記属性があるか確認します。

X1LINK…接続線を右から引き込む

X2LINK…接続線を上から引き込む

X4LINK…接続線を左から引き込む

X8LINK…接続線を下から引き込む

複数の上記属性を配置可能です。

### ② コマンド実行

コマンドを実行し、接続する回路シンボルを順にクリックし ENTER キーまたは右クリックを行います。

### ③ 連結後の表示

バージョンにより多少異なりますが、器具番号等が非表示に設定されます。

基本的には親子シンボルを連結する為のコマンドですが、親シンボル同士でも接続してしまう為注意が必要です。